

参 考 资 料

1 平成7年度公共用水域水質測定計画について（抜粋）

1 目 的

この計画は、水質汚濁防止法第16条の規定に基づき、神奈川県内の公共用水域の水質の測定について必要な事項を定めるものである。

2 実施期間

平成7年4月から平成8年3月までとする。

3 測定項目及び測定頻度

原則として別表第1のとおりとする。

4 測定地点及び測定機関

別表第2のとおりとする。

5 採水時期

採水日前において比較的晴天が続き、水質が安定している日を選ぶものとする。

6 採水部位

- (1) 河川については、原則として流心部とし、水面から水深の2割程度の深さとする。
- (2) 湖沼及び海域については、上層（水面下0.5m）及び下層（水深が51m以下の地点にあっては底上1m、51mを超える地点にあっては水面下50m）の2層とする。

別表第1

項目区分	項目番号	項目	測定頻度		
			河川	湖沼	海域
観測項目	1	天候	採水時に毎回	採水時に毎回	採水時に毎回
	2	前日天候	毎月、1日1回	毎月、1日1回	毎月、1日1回
	3	水深	採水時に毎回	採水時に毎回	採水時に毎回
	4	採取水深	〃	〃	〃
	5	流速	〃	—	—
	6	流量	〃	—	—
	7	気温	〃	採水時に毎回	採水時に毎回
	8	水温	〃	〃	〃
	9	色相	〃	〃	〃
	10	透視度	〃	—	—
	11	透明度	—	採水時に毎回	採水時に毎回
	12	臭気	採水時に毎回	〃	〃
	13	外観	〃	〃	〃
健康項目	1	カドミウム	毎月、1日1回	年2回1日1回 2層混合	隔月、1日1回 2層混合
	2	全シアン	〃	〃	〃
	3	鉛	〃	〃	〃
	4	六価クロム	〃	〃	〃
	5	砒素	〃	〃	〃
	6	総水銀	〃	毎月、1日1回 2層混合	〃
	7	アルキル水銀	環境基準点のみ 年2回1日1回	主要点のみ年2回 1日1回2層混合	年2回1日1回 2層混合
	8	P C B	〃	〃	〃
	9	ジクロロメタン	年2回、1日1回	年2回、1日1回 2層混合	〃
	10	四塩化炭素	毎月、1日1回	毎月、1日1回 2層混合	〃
	11	1,2-ジクロロエタン	年2回、1日1回	年2回、1日1回 2層混合	〃
	12	1,1-ジクロロエチレン	〃	〃	〃
	13	シス-1,2-ジクロロエチレン	〃	〃	〃
	14	1,1,1-トリクロロエタン	毎月、1日1回	毎月、1日1回 2層混合	〃

項目区分	項目番号	項目	測定頻度		
			河川	湖沼	海域
健康項目	15	1,1,2-トリクロロエタン	年2回、1日1回	年2回層1日1回混合	年2回層1日1回混合
	16	トリクロロエチレン	毎月、1日2回	毎月、1日1回混合	年4回、1日1回混合
	17	テトラクロロエチレン	〃	〃	〃
	18	1,3-ジクロロプロペン	年2回、1日1回	年2回層1日1回混合	年2回層1日1回混合
	19	チウラム	〃	〃	〃
	20	シマジン	〃	〃	〃
	21	チオベンカルブ	〃	〃	〃
	22	ベンゼン	〃	〃	〃
	23	セレン	〃	〃	〃
生活環境項目	24	PH	毎月、1日4回	毎月、1日1回2層	毎月、1日1回2層
	25	BOD	〃	〃	-
	26	COD	〃	〃	毎月、1日1回2層
	27	SS	〃	〃	-
	28	DO	〃	〃	毎月、1日1回2層
	29	大腸菌群数	毎月、1日1回	毎月、1日1回上層	毎月、1日1回上層
	30	n-ヘキサノ抽出物質	年2回、1日2回	主要点のみ毎月1日1回上層	〃
	31	全窒素	毎月、1日2回	毎月、1日1回2層	毎月、1日1回2層
	32	全リン	〃	〃	〃
特殊項目	33	フェノール類	隔月、1日1回	主要点のみ年2回1日1回2層混合	年2回層1日1回混合
	34	銅	〃	〃	〃
	35	亜鉛	〃	〃	〃
	36	溶解性鉄	〃	〃	〃
	37	溶解性マンガン	〃	〃	〃
	38	クロム	環境基準点のみ年2回1日1回	〃	-
	39	EPN	〃	〃	年2回層1日1回混合
	40	フッ素	隔月、1日1回	〃	〃
	41	ニッケル	年2回、1日1回	〃	〃

項目区分	項目番号	項目	測定頻度		
			河川	湖沼	海域
特殊項目	42	亜硝酸性窒素	毎月、1日1回	毎月、1日1回2層	毎月、1日1回2層
	43	硝酸性窒素	〃	〃	〃
その他の項目	44	アンモニア性窒素	〃	〃	〃
	45	磷酸態磷	〃	〃	〃
	46	塩化物イオン	毎月、1日2回	〃	—
	47	塩分	—	—	毎月、1日1回2層
	48	陰イオン界面活性剤	隔月、1日1回	毎月、1日1回上層	隔月、1日1回上層
	49	クロロフィル a	—	〃	毎月、1日1回上層
	50	トリハロメタン生成能	特定点のみ年4回、1日1回	特定点のみ年4回、1日1回2層混合	—

注 1 「1日1回」とは、日中に1回測定することを示し、「1日2回」とは、12時間間隔で2回測定することを示す。また、「1日4回」とは、6時間間隔で4回測定することを示す。

2 「—」とは、測定しないことを示す。

別表第2

1 総括表

水域	測定地点数	内訳	
		環境基準点	その他
河川	84	34	50
湖沼	17	7	10
(相模湖)	(5)	(1)	(4)
(津久井湖)	(4)	(1)	(3)
(芦ノ湖)	(4)	(4)	(0)
(丹沢湖)	(4)	(1)	(3)
海域	43	28	15
(東京湾)	(23)	(21)	(2)
(相模湾)	(20)	(8)	(12)
計	144	69	75

2 河 川

水 域	支 川	番号	測 定 地 点	類型	測定機関
多 摩 川		①	多 摩 川 原 橋	C	建 設 省
		2	多 摩 水 道 橋		建 設 省
		3	二子橋 (第三京浜)		建 設 省
		④	田園調布取水堰 (上)		建 設 省
		5	六 郷 橋	D	建 設 省
		⑥	大 師 橋		建 設 省
	三 沢 川	7	一 の 橋	C	川 崎 市
	二ヶ領本川	8	堰 前 橋	C	川 崎 市
	平 瀬 川	9	平 瀬 橋	C	川 崎 市
鶴 見 川		10	千 代 橋	D	横 浜 市
		⑪	亀 の 子 橋		建 設 省
		⑫	大 綱 橋	E	建 設 省
		13	末 吉 橋		建 設 省
		⑭	臨 港 鶴 見 川 橋		建 設 省
	恩 田 川	15	都 橋	D	横 浜 市
	大 熊 川	16	大 竹 橋	D	建 設 省
	鳥 山 川	17	又 口 橋	D	建 設 省
	早 淵 川	18	峯 大 橋	E	建 設 省
矢 上 川	19	矢 上 川 橋	E	建 設 省	
入 江 川		⑳	入 江 橋	E	横 浜 市
帷 子 川		㉑	水 道 橋	E	横 浜 市
大 岡 川		㉒	清 水 橋	E	横 浜 市
宮 川		㉓	瀬 戸 橋	E	横 浜 市
侍 従 川		㉔	平 潟 橋	E	横 浜 市
鷹 取 川		㉕	追 浜 橋	E	横 須 賀 市
平 作 川		㉖	夫 婦 橋	E	横 須 賀 市
松 越 川		㉗	竹 川 合 流 後	E	横 須 賀 市
下 山 川		㉘	下 山 橋	E	神 奈 川 県
森 戸 川 (葉山町)		㉙	森 戸 橋	E	神 奈 川 県
田 越 川		㉚	渚 橋	E	神 奈 川 県
滑 川		㉛	滑 川 橋	E	神 奈 川 県
神 戸 川		㉜	神 戸 橋	E	神 奈 川 県
境 川		33	境 橋	D	相 模 原 市
		34	鶴 間 橋		神 奈 川 県
		35	新 道 大 橋		神 奈 川 県
		36	高 鎌 橋		横 浜 市
		37	大 道 橋		藤 沢 市
		㉝	境 川 橋		藤 沢 市
	柏 尾 川	39	吉 倉 橋	D	横 浜 市
	40	鷹 匠 橋	横 浜 市		
41	川 名 橋	藤 沢 市			
(狹 川)	42	狹 川 橋	横 浜 市		

水域	支川	番号	測定地点	類型	測定機関
引地川		43	下土棚大橋	D	藤沢市
		44	石川橋		藤沢市
		④⑤	富士見橋		藤沢市
相模川		46	小倉橋	A	神奈川県
		47	昭和橋		神奈川県
		48	相模大橋		神奈川県
		④⑨	寒川取水堰(上)		神奈川県
		⑤⑩	馬入橋	C	建設省
	道志川	51	両国橋	A	神奈川県
		52	弁天橋		神奈川県
	鳩川	53	馬船橋	A	神奈川県
	中津川	54	第1鮎津橋	A	神奈川県
	小鮎川	55	第2鮎津橋	A	神奈川県
	玉川	56	相川水位観測所	A	神奈川県
	永池川	57	本川合流前	A	神奈川県
	目久尻川	58	河原橋	C	神奈川県
	小出川	59	宮の下橋	C	神奈川県
金目川		⑥⑩	小田急鉄橋	A	神奈川県
		⑥⑪	花水橋	C	神奈川県
	鈴川	62	渋田川合流前	C	神奈川県
	渋田川	63	鈴川合流前	C	神奈川県
葛川		⑥⑫	吉田橋	C	神奈川県
中村川		⑥⑬	押切橋	C	神奈川県
森戸川 (小田原市)		66	万石橋	D	神奈川県
		⑥⑭	親木橋	D	神奈川県
酒匂川		68	県境	A	神奈川県
		69	峰下橋		神奈川県
		70	十文字橋		神奈川県
		71	報徳橋		神奈川県
		⑦⑮	飯泉取水堰(上)		神奈川県
		⑦⑯	酒匂橋	B	神奈川県
	玄倉川	74	玄倉水位観測所	A	神奈川県
	河内川	75	湖流入前	A	神奈川県
	落合発電所放流水	76	落合発電所	A	神奈川県
	世附川	77	湖流入前	A	神奈川県
	川音川	78	文久橋	A	神奈川県
	狩川	79	狩川橋	A	神奈川県
山王川		⑧⑰	山王橋	E	神奈川県
早川		81	観光会館前	A	神奈川県
		⑧⑱	早川橋		神奈川県
新崎川		⑧⑲	吉浜橋	B	神奈川県
千歳川		⑧⑳	千歳橋	B	神奈川県

注 番号が○で囲まれている測定地点は、環境基準点である。(以下同じ)

3 湖 沼

(1) 相模湖

番号	測定地点	位置	類型	測定機関
①	境川橋	—————	河川 A	神奈川県
2	日連大橋	—————		神奈川県
3	湖中央西部	勝瀬橋右岸と相模湖電報電話局を結んだ線の中央		神奈川県
4	湖中央東部	遊覧船さん橋延長0.25kmの地点		神奈川県
5	相模湖大橋	—————		神奈川県

(2) 津久井湖

番号	測定地点	位置	類型	測定機関
①	沼本ダム	—————	河川 A	神奈川県
2	名手橋	—————		神奈川県
3	湖中央部	三井大橋右岸と津久井老人保養所を結んだ線の中央		神奈川県
4	道志橋	—————		神奈川県

(3) 芦ノ湖

番号	測定地点	位置	類型	測定機関
①	湖北中央部	逆川口とトリカブトを結んだ線の逆川口側から0.6kmの地点	湖沼 A A	神奈川県
②	湖中央部	逆川口とトリカブトを結んだ線の逆川口側から3.4kmの地点		神奈川県
③	湖西部	逆川口とトリカブトを結んだ線の逆川口側から5.2kmの地点		神奈川県
④	湖東部	弁天の鼻と沓石を結んだ線の弁天の鼻側から0.6kmの地点		神奈川県

(4) 丹沢湖

番号	測定地点	位置	類型	測定機関
①	湖中央部	城山突端と田ノ入発電所取水口を結んだ線の中央	湖沼 A	神奈川県
2	大仏大橋	—————		神奈川県
3	湖東部	サカイ沢橋右岸と棚上橋左岸を結んだ線の中央		神奈川県
4	湖西部	梯子沢橋左岸と型の口橋左岸を結んだ線の中央		神奈川県

4 海 域

(1) 東京湾

番号	測定地点	緯度	経度	水域	類型	測定機関
1	川崎航路	N35°30'13"	E139°46'52"	東京湾(6)	C	川崎市
②	京浜運河千鳥町	N35°30'04"	E139°45'24"			川崎市
③	川崎港防波堤沖	N35°28'33"	E139°44'57"			川崎市
④	京浜運河扇町	N35°29'19"	E139°43'28"			川崎市
⑤	鶴見川河口先	N35°28'22"	E139°41'19"			横浜市
⑥	横浜港内	N35°27'25"	E139°39'01"			横浜市
⑦	磯子沖	N35°23'28"	E139°39'04"	東京湾(7)	C	横浜市
⑧	夏島沖	N35°18'12"	E139°39'00"	東京湾(8)	C	横須賀市
⑨	浮島沖	N35°30'04"	E139°48'42"	東京湾(9)	B	川崎市
⑩	平潟湾内	N35°19'35"	E139°37'48"	東京湾(10)	B	横浜市
⑪	千鳥町沖	N35°28'50"	E139°47'56"	東京湾(12)	B	川崎市
⑫	扇島沖	N35°27'27"	E139°45'05"			川崎市
⑬	本牧沖	N35°24'57"	E139°41'54"			横浜市
⑭	富岡沖	N35°22'00"	E139°40'36"			横浜市
15	平潟湾沖	N35°20'06"	E139°39'42"			横浜市
⑯	大津湾	N35°16'32"	E139°42'12"	東京湾(13)	B	横須賀市
⑰	浦賀港内	N35°14'04"	E139°43'40"	東京湾(14)	B	横須賀市
⑱	久里浜港内	N35°13'13"	E139°43'20"	東京湾(15)	B	横須賀市
⑲	中の瀬北	N35°25'04"	E139°44'56"	東京湾(16)	A	神奈川県
⑳	中の瀬南	N35°20'50"	E139°43'30"			神奈川県
㉑	第三海堡東	N35°16'56"	E139°45'40"	東京湾(17)	A	神奈川県
㉒	浦賀沖	N35°13'28"	E139°46'00"			神奈川県
23	剣崎沖	N35°08'10"	E139°45'40"			神奈川県

(参考) 全窒素及び全燐の水域類型に係る環境基準点

番号	測定地点	水域	類型	番号	測定地点	水域	類型
⑪	千鳥町沖	東京湾(ロ)	IV	⑲	中の瀬北	東京湾(ニ)	III
⑫	扇島沖			⑳	中の瀬南		
⑬	本牧沖			㉑	第三海堡東	東京湾(ホ)	II
⑭	富岡沖			㉒	浦賀沖		
⑧	夏島沖	東京湾(ハ)	IV	㉓	剣崎沖		

注 剣崎沖は全窒素及び全燐のみに係る環境基準点である。

(2) 相模湾

番号	測定地点	緯度	経度	水域	類型	測定機関
1	江の島西	N35°17'54"	E139°28'33"	相模湾(1)	A	藤沢市
②	辻堂沖	N35°18'12"	E139°27'04"			藤沢市
③	城ヶ島沖	N35°06'48"	E139°37'48"	相模湾(2)	A	神奈川県
4	城ヶ島西	N35°07'50"	E139°36'00"			神奈川県
⑤	小網代湾	N35°10'00"	E139°36'00"			神奈川県
6	小田和湾	N35°12'45"	E139°36'35"			横須賀市
7	葉山沖	N35°15'18"	E139°33'48"			神奈川県
⑧	由比ヶ浜沖	N35°17'00"	E139°32'48"			神奈川県
9	七里ヶ浜沖	N35°17'24"	E139°30'24"			神奈川県
10	茅ヶ崎沖	N35°17'54"	E139°24'00"			神奈川県
11	平塚沖	N35°18'12"	E139°21'12"			神奈川県
⑫	大磯沖	N35°17'24"	E139°17'24"			神奈川県
13	湾央東	N35°14'36"	E139°28'33"			神奈川県
⑭	湾央	N35°14'36"	E139°22'36"			神奈川県
15	湾央西	N35°14'36"	E139°16'36"			神奈川県
16	国府津沖	N35°16'08"	E139°13'44"			神奈川県
17	小田原沖	N35°14'36"	E139°11'24"			神奈川県
⑮	根府川沖	N35°12'24"	E139°09'48"			神奈川県
19	真鶴沖	N35°09'31"	E139°09'48"			神奈川県
⑳	吉浜沖	N35°08'26"	E139°07'56"			神奈川県

2 水質汚濁に係る環境基準について（抜粋）

（昭和46年12月28日）
環境庁告示 第59号

改正 昭和49年環境庁告示第63号	昭和50年環境庁告示第3号
昭和57年環境庁告示第41号	昭和57年環境庁告示第140号
昭和60年環境庁告示第29号	昭和61年環境庁告示第1号
平成3年環境庁告示第78号	平成5年環境庁告示第16号
平成5年環境庁告示第65号	平成6年環境庁告示第20号

公害対策基本法（昭和42年法律第132号）第9条の規定に基づく水質汚濁に係る環境基準を次のとおり告示する。

水質汚濁に係る環境基準について

公害対策基本法第9条による公共用水域の水質汚濁に係る環境上の条件につき人の健康を保護しおよび生活環境（同法第2条第2項で規定するものをいう。以下同じ。）を保全するうえで維持することが望ましい基準（以下「環境基準」という。）は、次のとおりとする。（昭和45年4月21日設定）

第1 環境基準

公共用水域の水質汚濁に係る環境基準は、人の健康の保護および生活環境の保全に関し、それぞれ次のとおりとする。

1 人の健康の保護に関する環境基準

人の健康の保護に関する環境基準は、全公共用水域につき、別表1の項目の欄に掲げる項目ごとに、同表の基準値の欄に掲げるとおりとする。

2 生活環境の保全に関する環境基準

(1) 生活環境の保全に関する環境基準は、各公共用水域につき、別表2の水域類型の欄に掲げる水域類型のうち当該公共用水域が該当するものとして(2)により指定する水域類型ごとに、同表の基準値の欄に掲げるとおりとする。

(2) 各公共用水域が該当する水域類型の指定は、環境基準に係る水域および地域の指定権限の委任に関する政令（昭和46年政令第159号）の別表に掲げる公共用水域については別途環境庁長官が行い、その他の公共用水域については同政令の定めるところにより都道府県知事が行うものとする。

注 平成5年11月19日、公害対策基本法が廃止され、環境基準法が公布、施行されたことに伴い、公害対策基本法第9条第1項の規定により定められている基準は、環境基本法第16条により定められた基準とみなすこととされている。（環境基準法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第2条）

別表1 人の健康の保護に関する環境基準

項 目	基 準 値	測 定 方 法
カドミウム	0.01mg/ℓ以下	日本工業規格K0102（以下この表、別表2、付表1から付表3まで、付表6、付表7及び付表9において「規格」という。）55.2、55.3若しくは55.4に定める方法又は付表1に掲げる方法
全シアン	検出されないこと。	規格38.1.2及び38.2に定める方法又は規格38.1.2及び38.3に定める方法
鉛	0.01mg/ℓ以下	規格54.2、54.3若しくは54.4に定める方法又は付表1に掲げる方法
六価クロム	0.05mg/ℓ以下	規格65.2に定める方法又は付表1に掲げる方法
砒素	0.01mg/ℓ以下	規格61.2に定める方法又は付表2に掲げる方法
総水銀	0.0005mg/ℓ以下	付表3に掲げる方法
アルキル水銀	検出されないこと。	付表4に掲げる方法
P C B	検出されないこと。	付表5に掲げる方法
ジクロロメタン	0.02mg/ℓ以下	日本工業規格K0125の5.1、5.2又は5.3.2に定める方法
四塩化炭素	0.002mg/ℓ以下	日本工業規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法
1,2-ジクロロエタン	0.004mg/ℓ以下	日本工業規格K0125の5.1、5.2又は5.3に定める方法
1,1-ジクロロエチレン	0.02mg/ℓ以下	日本工業規格K0125の5.1、5.2又は5.3.2に定める方法
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/ℓ以下	日本工業規格K0125の5.1、5.2又は5.3.2に定める方法
1,1,1-トリクロロエタン	1mg/ℓ以下	日本工業規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法
1,1,2-トリクロロエタン	0.006mg/ℓ以下	日本工業規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法
トリクロロエチレン	0.03mg/ℓ以下	日本工業規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法
テトラクロロエチレン	0.01mg/ℓ以下	日本工業規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法
1,3-ジクロロプロペン	0.002mg/ℓ以下	日本工業規格K0125の5.1、5.2又は5.3.1に定める方法
チウラム	0.006mg/ℓ以下	付表6に掲げる方法
シマジン	0.003mg/ℓ以下	付表7の第1又は第2に掲げる方法
チオベンカルブ	0.02mg/ℓ以下	付表7の第1又は第2に掲げる方法
ベンゼン	0.01mg/ℓ以下	日本工業規格K0125の5.1、5.2又は5.3.2に定める方法
セレン	0.01mg/ℓ以下	規格67.2に定める方法又は付表2に掲げる方法
<p>備 考</p> <p>1 基準値は年間平均値とする。ただし、全シアンに係る基準値については、最高値とする。</p> <p>2 「検出されないこと」とは、測定方法の欄に掲げる方法により測定した場合において、その結果が当該方法の定量限界を下回ることをいう。別表2において同じ。</p>		

別表2 生活環境の保全に関する環境基準

1 河 川

(1) 河 川 (湖沼を除く。)

項目 類型	利用目的の 適 応 性	基 準 値					該 当 水 域
		水素イオン濃度 (PH)	生物化学的酸素 要求量(BOD)	浮遊物質 量(SS)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌群数	
AA	水道1級 自然環境保全及 びA以下の欄に 掲げるもの	6.5以上8.5以下	1mg/l以下	25mg/l以下	7.5mg/l以上	50MPN /100ml以下	第1の2 の(2)によ り水域類 型ごとの 指定する 水域
A	水道2級 水産1級 水浴及びB以下 の欄に掲げるも の	6.5以上8.5以下	2mg/l以下	25mg/l以下	7.5mg/l以上	1,000MPN /100ml以下	
B	水道3級 水産2級 及びC以下の欄 に掲げるもの	6.5以上8.5以下	3mg/l以下	25mg/l以下	5mg/l以上	5,000MPN /100ml以下	
C	水産3級 工業用水1級及 びD以下の欄に 掲げるもの	6.5以上8.5以下	5mg/l以下	50mg/l以下	5mg/l以上	-	
D	工業用水2級 農業用水及びE の欄に掲げるも の	6.0以上8.5以下	8mg/l以下	100mg/l以下	2mg/l以上	-	
E	工業用水3級 環 境 保 全	6.0以上8.5以下	10mg/l以下	ごみ等の浮遊が 認められないこ と。	2mg/l以上	-	
備 考 1 基準値は、日間平均値とする(湖沼、海域もこれに準ずる。)							

(2) 湖 沼 (天然湖沼及び貯水量100万立方メートル以上の人工湖)

ア

項目 類型	利用目的の 適 応 性	基 準 値					該 当 水 域
		水素イオン濃度 (PH)	化学的酸素 要求量(COD)	浮遊物質 量(SS)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌群数	
AA	水道1級 水産1級 自然環境保全及 びA以下の欄に 掲げるもの	6.5以上8.5以下	1mg/l以下	1mg/l以下	7.5mg/l以上	50MPN /100ml以下	第1の2 の(2)によ り水域類 型ごとの 指定する 水域
A	水道2、3級 水産2級 水浴及びB以下 の欄に掲げるも の	6.5以上8.5以下	3mg/l以下	5mg/l以下	7.5mg/l以上	1,000MPN /100ml以下	
B	水道3級 工業用水1級 農業用及びCの 欄に掲げるもの	6.5以上8.5以下	5mg/l以下	15mg/l以下	5mg/l以上	-	
C	工業用水2級 環 境 保 全	6.0以上8.5以下	8mg/l以下	ごみ等の浮遊が 認められないこ と。	2mg/l以上	-	

イ

項目 類型	利用目的の適応性	基準値		該当水域
		全窒素	全りん	
I	自然環境保全及びII以下の欄に掲げるもの	0.1mg/l以下	0.005mg/l以下	第1の2の(2)により水域類型ごとに指定する水域
II	水道1、2、3級（特殊なものを除く。） 水産1種 水浴及びIII以下の欄に掲げるもの	0.2mg/l以下	0.01mg/l以下	
III	水道3級（特殊なもの）及びIV以下の欄に掲げるもの	0.4mg/l以下	0.03mg/l以下	
IV	水産2種及びVの欄に掲げるもの	0.6mg/l以下	0.05mg/l以下	
V	水産3種 工業用水 農業用水 環境保	1mg/l以下	0.1mg/l	

備考

- 1 基準値は、年間平均値とする。
- 2 水域類型の指定は、湖沼植物プランクトンの著しい増殖を生ずるおそれがある湖沼について行うものとし、全窒素の項目の基準値は、全窒素が湖沼植物プランクトンの増殖の要因となる湖沼について適用する。

2 海 域

項目 類型	利用目的の適応性	基準値					該当水域
		水素イオン濃度 (pH)	化学的酸素要求量(COD)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌群数	n-ヘキサン抽出物質 (油分等)	
A	水産1級 水浴 自然環境保全 及びB以下の欄 に掲げるもの	7.8以上8.3以下	2mg/l以下	7.5mg/l以上	1,000MPN /100ml以下	検出されないこと。	第1の2の(2)により水域類型ごとに指定する水域
B	水産2級 工業用水 及びCの欄に掲 げるもの	7.8以上8.3以下	3mg/l以下	5mg/l以上	—	検出されないこと。	
C	環境保全	7.0以上8.3以下	8mg/l以下	2mg/l以上	—	—	

イ

項目 類型	利用目的の適応性	基準値		該当水域
		全窒素	全リン	
I	自然環境保全及びII以下の欄に掲げるもの (水産2種及び3種を除く。)	0.2mg/l以下	0.02mg/l以下	第1の2の(2) により水域類型ごとに指定 する水域
II	水産1種 水浴及びIII以下の欄に掲げるもの (水産2種及び3種を除く。)	0.3mg/l以下	0.03mg/l以下	
III	水産2種及びIVの欄に掲げるもの (水産3種を除く。)	0.6mg/l以下	0.05mg/l以下	
IV	水産3種 工業用水 生物生息環境保全	1mg/l以下	0.09mg/l以下	
備考 1 基準値は、年間平均値とする。 2 水域類型の指定は、海洋植物プランクトンの著しい増殖を生ずるおそれがある海域について行うものとする。				

3 特殊項目の判定値について

(1) 判定値についての考え方

フェノール類、銅、亜鉛、溶解性鉄、溶解性マンガン及びクロムは、排水基準を定める総理府令（以下「総理府令」という。）に定める値の1/10とした。

これは、健康項目の環境基準値が総理府令の1/10となっているのに準じたものである。

EPN、フッ素、ニッケル及び亜硝酸性窒素・硝酸性窒素については環境庁の定めた要監視項目指針値を用いた。

(2) 項目別判定値

(単位：mg/l)

項目	フェノール類	銅	亜鉛	溶解性鉄	溶解性マンガン	クロム	EPN	フッ素	ニッケル	硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素
判定値	0.5	0.3	0.5	1.0	1.0	0.2	0.006	0.8	0.01	10

4 県内公共用水域が該当する水質汚濁に係る環境基準の水域類型

(1) 河 川

水 域	水域類型	達成期間	指定年月日	備 考
多摩川中流（拝島橋から調布堰まで）	C	ハ	45. 9. 1	45. 9. 1閣議決定
多摩川下流（調布堰より下流）	D	ハ	45. 9. 1	〃
鶴見川上流（烏山川合流点より上流）	D	ハ	45. 9. 1	〃
鶴見川下流（烏山川合流点より下流）	E	ハ	45. 9. 1	〃
入 江 川（全域）	E	ハ	47. 3.31	県告示第403号
帷 子 川（全域）	E	ハ	47. 3.31	〃
大 岡 川（全域）	E	ハ	47. 3.31	〃
宮 川（全域）	E	ハ	47. 3.31	〃
侍 従 川（全域）	E	ハ	47. 3.31	〃
鷹 取 川（全域）	E	ハ	47. 3.31	〃
平 作 川（全域）	E	ハ	47. 3.31	〃
松 越 川（全域）	E	ハ	55. 9.30	県告示第763号
下 山 川（全域）	E	ロ	47. 3.17	県告示第250号
森 戸 川（河口が葉山町に係るものの全域）	E	ハ	47. 3.31	県告示第403号
田 越 川（全域）	E	ハ	47. 3.17	県告示第250号
滑 川（全域）	E	ハ	47. 3.17	〃
神 戸 川（全域）	E	ハ	47. 3.17	〃
境 川（全域）	D	ハ	47. 3.17	〃
引 地 川（全域）	D	ハ	47. 3.17	〃
相模川上流(2)（柄杓流川合流点から相模湖大橋（相模ダム）まで）	A	ハ	48. 3.31	環境庁告示第21号
相模川上流(3)（相模湖大橋（相模ダム）から城山ダムまで）	A	イ	48. 3.31	〃
相模川中流（城山ダムから寒川取水堰まで）	A	ロ	45. 9. 1	45. 9. 1閣議決定
相模川下流（寒川取水堰より下流）	C	イ	48. 3.31	環境庁告示第21号
金目川上流（土屋橋の上流端から上流の区域）	A	ハ	47. 3.17	県告示第250号
金目川下流（土屋橋の上流端から下流の区域）	C	ハ	47. 3.17	〃
葛 川（全域）	C	ハ	47. 3.17	〃
中 村 川（全域）	C	ハ	47. 3.17	〃
森 戸 川（河口が小田原市に係るものの全域）	D	ハ	47. 3.17	〃
酒匂川上流（飯泉取水堰から上流の区域であって、丹沢湖（三保ダム上流端から上流の滞水域）の区域に係る部分を除いたもの）	A	ロ	47. 3.17 55. 3.25	県告示第250号 県告示第223号
酒匂川下流（飯泉取水堰から下流の区域）	B	イ	55. 9.30	県告示第763号
山 王 川（全域）	E	ハ	47. 3.17	県告示第250号
早 川（全域）	A	ハ	47. 3.17	〃
新 崎 川（全域）	B	ハ	47. 3.17	〃
千 歳 川（全域）	B	ハ	47. 3.17	〃

注 達成期間は、次のとおりである。（以下同じ。）

- (1) 「イ」は、直ちに達成
- (2) 「ロ」は、5年以内で可及的速やかに達成
- (3) 「ハ」は、5年を超える期間で可及的速やかに達成
- (4) 「ニ」は、段階的に暫定目標を達成しつつ、環境基準の可及的速やかな達成に努める。

(2) 湖 沼

水 域	水域類型	達成期間	指定年月日	備 考
芦ノ湖(全域)	湖沼A A	ハ	48. 3.30	県告示第281号
丹沢湖(三保ダム上流端から上流の滞水域)	湖沼A	イ	55. 3.25	県告示第222号

(3) 海 域

水 域	水域類型	達成期間	指定年月日	備 考
東京湾(1)	海域C	イ	46. 5.25	46. 5.25閣議決定
"(2)	" C	イ	"	"
"(3)	" C	ロ	"	"
"(4)	" C	イ	"	"
"(5)	" C	イ	"	"
"(6)	" C	イ	"	"
"(7)	" C	イ	"	"
"(8)	" C	イ	"	"
"(9)	" B	ハ	"	"
"(10)	" B	ロ	"	"
"(11)	" B	ロ	"	"
"(12)	" B	イ	"	"
"(13)	" B	ロ	"	"
"(14)	" B	ロ	"	"
"(15)	" B	ロ	"	"
"(16)	" A	ロ	"	"
"(17)	" A	イ	"	"
相模湾(1)	" A	ハ	55. 3.25	県告示第222号
"(2)	" A	イ	"	"

(4) 全窒素及び全磷に係る水域類型

水 域	水域類型	達成期間	暫定目標(平成11年度)	指定年月日	備 考
東京湾(ロ)	IV	ニ	全窒素 1.4 mg/l 全磷 0.095mg/l	7. 2.28	環境庁告示第5号
東京湾(ハ)	IV	イ	—	7. 2.28	"
東京湾(ニ)	III	ニ	全窒素 0.97 mg/l 全磷 0.067mg/l	7. 2.28	"
東京湾(ホ)	II	ニ	全窒素 0.62 mg/l 全磷 0.044mg/l	7. 2.28	"

5 県内公共用水域の概況

(1) 河川

本県の河川は、地勢上小河川が多いが、1級河川として、多摩川、鶴見川及び相模川があり、2級河川として酒匂川、境川その他21の河川がある。相模川から西側の河川は、丹沢、箱根等の山岳部を水源とする急流の河川が多く、東側の河川は、緩やかな流れの河川が多くなっている。

本県は、首都に隣接し、交通が便利であることなどもあって、早くから京浜工業地帯などの工場群を抱えている。さらに近年では、県内奥深くまで開発が進み、自然環境の改変が著しい。こうした社会的、経済的事情は、当然のことながら河川環境に大きな影響を与えている。

ア 多摩川

多摩川は、山梨県北東部の笠取山にその源を発し、奥多摩湖で数多くの支川を集めて関東山地を東に流れ、秋川、浅川などの支川を合わせ、神奈川県と東京都の境を流下し、東京湾に注いでいる。

多摩川の本川の水は、上流では東京都西多摩郡羽村堰で都の上水道用として取水され、中流から下流にかけては、支川からの水がほとんどである。県内では三沢川、平瀬川等が本川に流入している。

イ 鶴見川

鶴見川は、東京都町田市の丘陵部にその源を発し、恩田川、矢上川等の支川を集めながら緩やかに流れ、横浜市鶴見区で東京湾に注いでいる。流域は、都市化が進んでおり、特に、中流部から河口にかけては工場も多く、人口も密集している。

ウ 帷子川

帷子川は、横浜市旭区上川井町地先にその源を発し、市の中央部を東に流れ、横浜駅付近を経て、数本の運河に分かれて東京湾に注いでいる。

エ 平作川

平作川は、三浦半島中央に位置する大楠山付近にその源を発し、横須賀市の中央部を縦断し、途中多くの雨水幹線を集め久里浜港に注いでいる。

オ 境川

境川は、城山湖付近にその源を発し、都県境を南東に流れ、町田市南端から県内に入り、さらに南に流れ藤沢市で柏尾川を合わせて相模湾に注いでいる。流域は、相模原市、横浜市、藤沢市等の都市化の著しい区域を抱えている。

カ 引地川

引地川は、大和市上草柳の湧水にその源を発し、途中蓼川を合わせて南に流れ、藤沢市鶴沼海岸で相模湾に注いでいる。小田急江ノ島線が流域東部を河川と並行に走っていること等により沿岸全域にわたって都市化が進んでいる。

キ 相模川

相模川は、富士山麓にその源を発し、山梨県内で数々の支川を集め甲州街道に沿って流下する。県境の境川橋で桂川から相模川と名を変え、相模湖、津久井湖を経て、途中中津川等の支川を合わせて相模平野を緩やかに流れ相模湾に注いでいる。相模川の水は、県民の最も重要な飲料水源となっている。

ク 金目川

金目川は、丹沢山塊の南東部にその源を発し、秦野市内で葛葉川、水無川、室川を合わせ

て東に流れ、さらに平塚市で渋田川等を合わせて相模湾に注いでいる。流域は、人口増加が著しく都市化の波が押し寄せている。

ケ 酒 匂 川

酒匂川は、富士山東麓にその源を發し、途中河内川、川音川、狩川などの支川を合わせて本県西部を南に流れ、小田原市内で相模湾に注いでいる。小田原市飯泉堰から取水される水は、県民の重要な飲料水源となっている。

コ 早 川

早川は、芦ノ湖にその源を發し、深い谷を南東に流れ、湯本で支川の須雲川を合わせて小田原市早川口で相模湾に注いでいる。流域は、上流部の仙石原を除き平地に乏しいが、川沿いに温泉旅館が点在している。

(2) 湖 沼

ア 相 模 湖

相模湖は、昭和19年に完成した相模ダムによって相模川が堰き止められてできた人造湖である。湖周辺には、藤野町、相模湖町の集落が河岸段丘上に位置し、ダム近くには観光施設が集っており、行楽シーズンには多くの観光客が訪れている。

イ 津久井湖

津久井湖は、昭和40年に完成した城山ダムによって相模湖から流出水が堰き止められてできた人造湖であり、湖周辺には、津久井町等の集落が形成されている。津久井湖では城山湖（本沢調整池）を上池として揚水発電が行われている。

ウ 芦ノ湖

芦ノ湖は、箱根火山により誕生した風光明媚な天然湖であり、その水は、大部分が湖底からの湧き水である。湖畔には、毎年多くの観光客が訪れており、旅館等の観光施設が点在している。

エ 丹 沢 湖

丹沢湖は、昭和53年に完成した三保ダムによって酒匂川の支川の河内川が堰き止められてできた人造湖である。湖周辺及び流入河川（玄倉川、河内川、世附川）流域の人口は少ないが、丹沢湖を訪れる観光客は徐々に増加している。

(3) 海 域

ア 東 京 湾

東京湾は、房総半島と三浦半島に囲まれ、浦賀水道で太平洋につながる湾口の狭い閉鎖性水域である。その臨海部は、大工業地帯として発達しており、また、内陸部においても多くの人口を抱え活発な経済活動が営まれている。東京湾の海岸をみると川崎から横浜の金沢に至る地域は、工業用地造成のため埋め立てが進み、人工的な海岸に変貌しており、自然海岸は三浦半島に行かなければみられない。

イ 相 模 湾

相模湾は、太平洋に面した開放型の湾で、その沖合には黒潮が流れており、定置網漁業、わかめ養殖等の沿岸漁業が行われている。また、海岸は、変化に富み数多くの景勝地があり、海水浴場などの観光地として利用されている。

(4) 県内河川の概要一覧

番号	河川名	水源	県内総延長 (km)	県内流域面積 (km ²)
1	多摩川	秩父山塊	51.740	121.35
2	鶴見川	町田市丘陵地帯	83.410	315.85
3	入江川	横浜市鶴見区丘陵地帯	8.600	4.80
4	帷子川	横浜市旭区丘陵地帯	37.645	69.39
5	大岡川	横浜市港南区・磯子区丘陵地帯	28.107	32.80
6	宮川	横浜市金沢区丘陵地帯	2.530	7.98
7	侍従川	横浜市金沢区丘陵地帯	2.400	4.40
8	鷹取川	横須賀市北部丘陵地帯	2.000	2.30
9	平作川	横須賀市中央部丘陵地帯	11.000	26.08
10	松越川	横須賀市西部丘陵地帯	8.600	18.65
11	下山川	葉山町丘陵地帯	5.500	10.37
12	森戸川	逗子市丘陵地帯	2.000	6.97
13	田越川	逗子市丘陵地帯	6.160	13.14
14	滑川	鎌倉市丘陵地帯	7.600	11.87
15	神戸川	鎌倉市丘陵地帯	3.000	2.50
16	境川	城山町丘陵地帯	110.435	348.53
17	引地川	大和市丘陵地帯	28.030	85.13
18	相模川	富士山	279.315	1,231.38
19	金目川	丹沢山塊東部	105.180	417.55
20	葛川	中井町丘陵地帯	12.600	43.90
21	中村川	秦野市及び大井町	16.140	34.56

流入海域	主要支派川	河川の利用状況
東京湾 (川崎市、東京都)	平瀬川、三沢川、二ヶ領本川	(上水)、工水、漁業、農業用水
東京湾 (横浜市)	矢上川、早淵川、烏山川、恩田川	農業用水
東京湾 (横浜市)	足洗川	
東京湾 (横浜市)	今井川、中堀川	
東京湾 (横浜市)	日野川	
東京湾 (平潟湾) (横浜市)		
東京湾 (平潟湾) (横浜市)		
東京湾 (横須賀市)		
浦賀水道 (横須賀市)		
相模湾 (横須賀市)	竹川	
相模湾 (葉山町)		
相模湾 (逗子市)		
相模湾 (逗子市)		
相模湾 (鎌倉市)		
相模湾 (鎌倉市)		
相模湾 (藤沢市)	柏尾川、小松川	農業用水
相模湾 (藤沢市)	蓼川	農業用水
相模湾 (平塚市)	小出川、目久尻川、玉川、小鮎川、中津川、 鳩川、串川、道志川、秋山川	上水、工水、漁業、農業用水、 発電
相模湾 (平塚市)	渋田川、大根川、室川、水無川、葛葉川	上水、農業用水
相模湾 (大磯町)	不動川	農業用水
相模湾 (二宮町)	藤沢川	農業用水

番号	河川名	水源	県内総延長 (km)	県内流域面積 (km ²)
22	森戸川	大井町丘陵地帯	5.500	15.06
23	酒匂川	富士山丹沢山塊西部	179.725	937.93
24	山王川	箱根山塊東部	9.500	27.10
25	早川	芦ノ湖	50.480	129.90
26	新崎川	箱根山塊南部	6.110	15.64
27	千歳川	箱根山塊南部	13.470	33.71

(5) 県内湖沼の概要一覧

番号	湖沼名	所在地	周 囲 (km)	面 積 (km ²)
1	相模湖	津久井郡藤野町、相模湖町	34.4	3.26
2	津久井湖	津久井郡城山町、津久井町、相模湖町	25.2	2.47
3	芦ノ湖	足柄下郡箱根町	21.1	6.84
4	丹沢湖	足柄上郡山北町	21.5	2.18

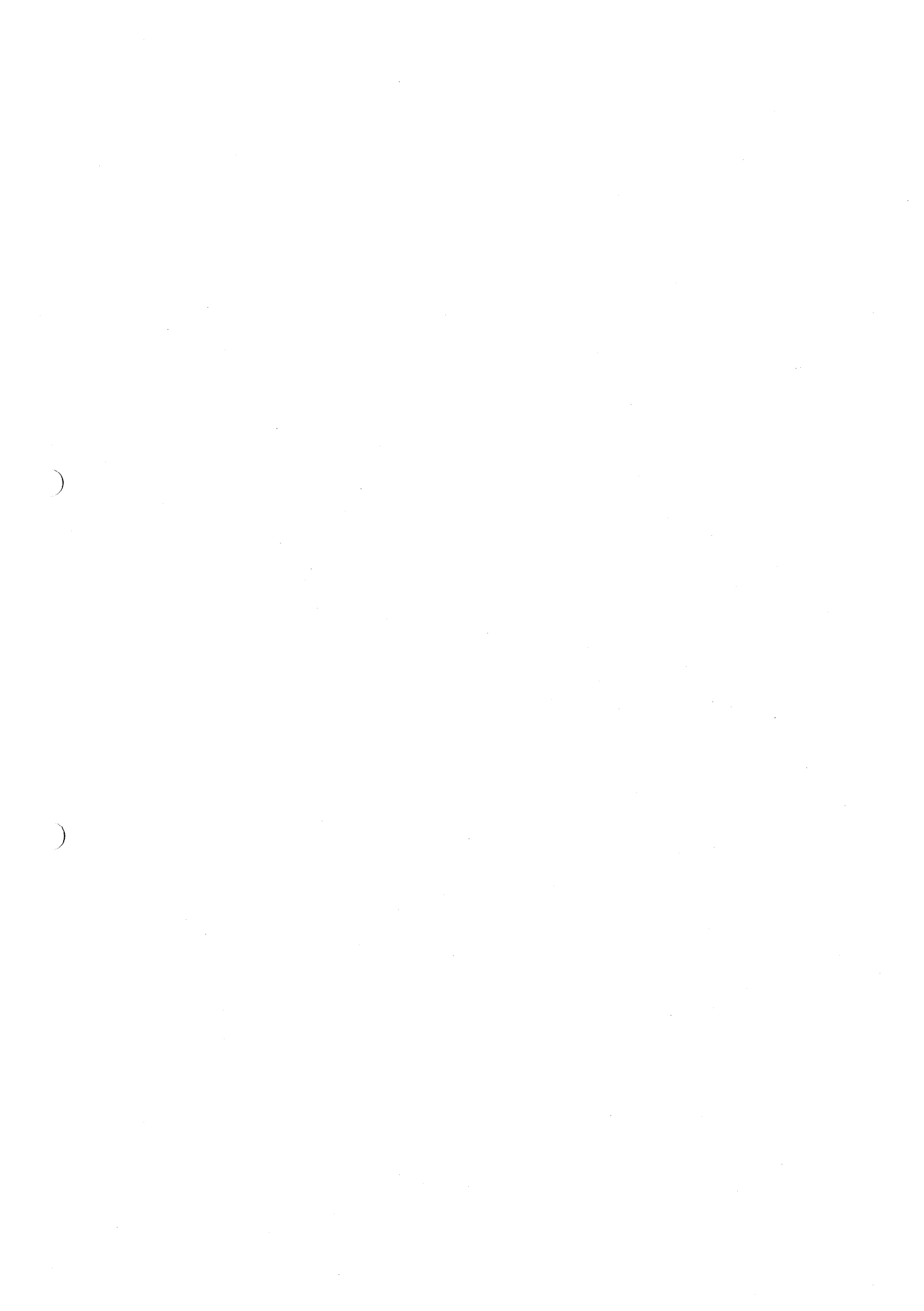
流入海域	主要支派川	河川の利用状況
相模湾（小田原市）		農業用水
相模湾（小田原市）	狩川、川音川、鮎沢川、河内川	上水、漁業、農業用水、発電
相模湾（小田原市）	久野川	農業用水
相模湾（小田原市）	須雲川	上水、漁業、農業用水、発電
相模湾（湯河原町）		上水
相模湾（湯河原町）		上水、漁業

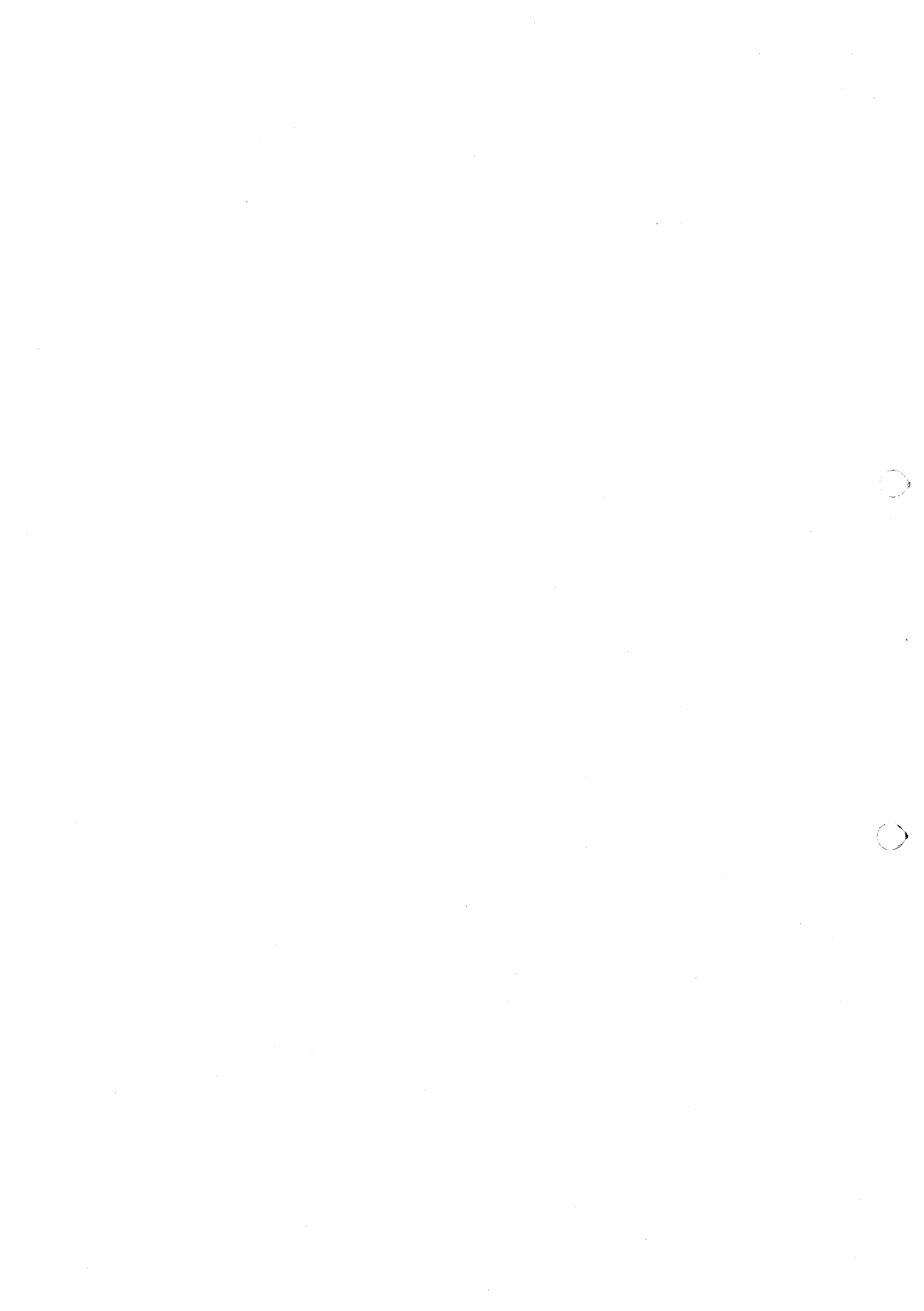
最深部水深 (m)	貯水量 (万 m^3)	利用状況
38.2	4,820	上水、工水、発電
50.0	5,470	上水、工水、発電
43.5	17,100	漁業、発電、(農業用水)
75.0	5,450	上水、発電

6 県内公共下水道の普及状況

(平成7年度未実績)

都市名	行政人口 (H8.3.31) (A)	市街地積 面 (B)	処理区域 人 口 (C)	処理区域 面 積 (D)	整備区域 人 口	整備区域 面 積	人 口 普及率 C/A	面 積 整備率 D/B
	千人	ha	千人	ha	千人	ha	%	%
横浜市	3,281.3	32,788	3,179.2	28,066	3,179.2	28,066	96.9	85.6
川崎市	1,178.6	12,679	1,111.1	9,546	1,113.7	9,564	94.3	75.3
指定都市計	4,459.9	45,467	4,290.3	37,612	4,292.9	37,630	96.2	82.7
横須賀市	435.1	6,384	343.9	4,254	359.8	4,598	79.0	66.6
平塚市	252.1	3,095	178.4	2,327	181.2	2,400	70.8	75.2
鎌倉市	171.4	2,571	92.6	1,401	108.0	1,684	54.0	54.5
藤沢市	365.1	4,685	297.6	3,776	301.0	3,796	81.5	80.6
小田原市	198.5	2,811	115.3	1,734	116.0	1,747	58.1	61.7
茅ヶ崎市	213.8	2,213	175.1	1,820	175.1	1,820	81.9	82.2
逗子市	57.6	852	57.5	874	57.5	874	99.8	102.6
相模原市	568.5	6,469	487.8	4,892	487.8	4,892	85.8	75.6
三浦市	54.5	792	0	0	2.6	31	0	0
秦野市	157.6	2,441	71.1	895	75.1	1,093	45.1	36.7
厚木市	202.4	3,102	171.4	2,831	171.4	2,831	84.7	91.3
大和市	202.8	2,007	164.9	1,652	165.1	1,657	81.3	82.3
伊勢原市	95.4	1,137	59.8	619	59.8	680	62.7	54.4
海老名市	112.5	1,378	88.9	934	89.3	958	79.0	67.8
座間市	117.1	1,253	73.0	769	73.5	775	62.3	61.4
南足柄市	43.7	715	12.9	273	12.9	273	29.5	38.2
綾瀬市	79.3	1,028	48.6	609	48.9	619	61.3	59.2
一般市計	3,327.4	42,933	2,438.8	29,660	2,484.7	30,728	73.3	69.1
葉山町	30.7	511	0	0	3.9	64	0	0
寒川町	47.2	698	30.7	496	34.5	550	65.0	71.1
大磯町	32.8	548	0.4	16	3.6	69	1.2	2.9
二宮町	30.9	434	0	0	2.4	35	0	0
中井町	10.2	222	0	0	1.6	84	0	0
大井町	15.7	325	11.0	281	11.0	281	70.1	86.5
松田町	13.3	198	7.1	116	7.7	128	53.4	58.6
山北町	14.5	304	3.7	104	3.7	104	25.5	34.2
開成町	12.4	252	4.3	107	4.5	107	34.7	42.5
箱根町	17.1	1,412	8.9	650	9.8	718	52.0	46.0
真鶴町	9.8	132	0	0	0.2	4	0	0
湯河原町	28.7	399	22.6	300	22.6	302	78.7	75.2
愛川町	42.5	898	26.2	555	26.7	620	61.6	61.8
清川村	3.3	0	0	0	1.4	35	0	0
城山町	22.9	216	13.3	170	13.9	180	58.1	78.7
津久井町	30.8	295	3.4	50	3.4	76	11.0	16.9
相模湖町	10.5	178	0	0	3.2	79	0	0
藤野町	11.3	215	0	0	1.8	70	0	0
町村計	384.6	7,237	131.6	2,845	155.9	3,506	34.2	39.3
一般都市計	3,712.0	50,170	2,570.4	32,505	2,640.6	34,234	69.2	64.8
合計	8,171.9	95,637	6,860.7	70,117	6,933.5	71,864	84.0	73.3









この本は 再生紙(古紙60%含有)を使用しています



神奈川県

環境部水質保全課 (内線3788~9)
横浜市中区日本大通1 丁目231 電話(045)201-1111(代表)